

# 令和4年度第1回食の安全安心セミナー 「食品添加物」アンケート結果

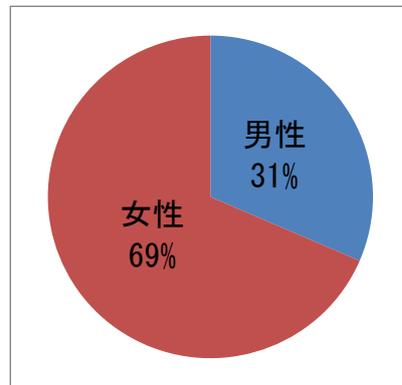
開催日時	令和4年9月5日（月） 午後1時30分から午後3時30分
場 所	宮城県行政庁舎2階 講堂
内 容	講 演 「なぜ食品添加物を使うの？～役割と安全性について～」 講師：一般社団法人日本食品添加物協会 常務理事 川岸 昇一 氏
情報提供	「食品添加物の不使用表示に関するガイドラインについて」 講師：一般社団法人日本食品添加物協会 常務理事 川岸 昇一 氏

○参加者：54名 アンケート回答者54名（回収率：100%）

## 問1 ご自身についてご回答ください

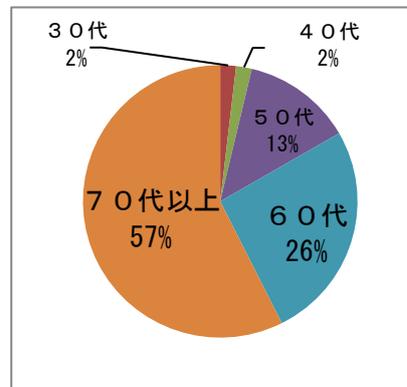
### (1) 性別

男性	17人
女性	37人
計	54人



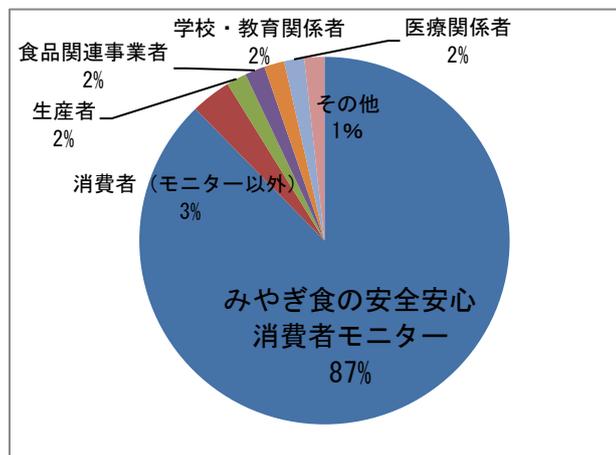
### (2) 年齢

～20代	0人
30代	0人
40代	1人
50代	7人
60代	14人
70代～	31人



### (3) 職業（所属）

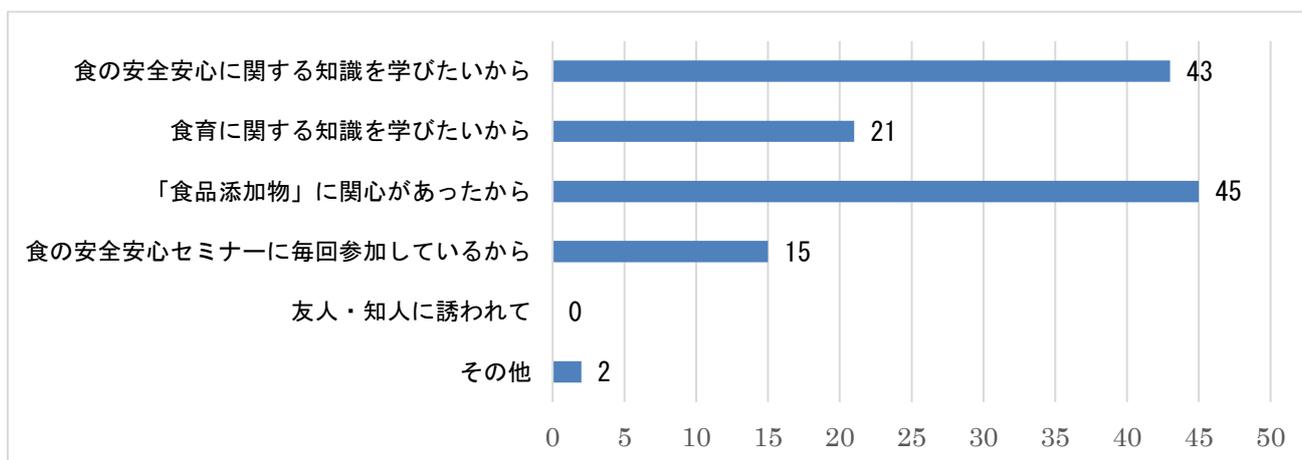
みやぎ食の安全安心 消費者モニター	50人
消費者 (モニター以外)	2人
生産者	1人
食品関連事業者	1人
学校・教育関係者	1人
医療関係者	1人
その他	0人



※複数回答あり

## 問2 内容についてお伺いします。

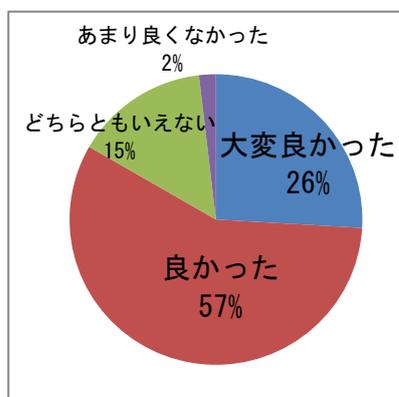
1. セミナーに参加いただいた理由をお聞かせください。(複数回答 可)



2. 講演 「なぜ食品添加物を使うの?～役割と安全性について～」について

(1) 内容はいかがでしたか。

大変良かった	14人
良かった	31人
どちらともいえない	8人
あまり良くなかった	1人
良くなかった	0人



(2) 上記の回答理由(一部抜粋して記載しております)

- ・ 食品添加物の必要性、安全性について知見が広がり、全ての食品にゼロリスクはなく、安全性が科学的に行われ、イメージや感情で求めてはならないと理解した。
- ・ 食品添加物は製造、加工での様々な目的での使用であると思っていたが、社会的な役割としての部分もあることを知ることができ、さらなる進化、展開もあると感じた。食品添加物のリスク(ADI)評価期間もあることを知った。
- ・ 一括りに食品添加物とされがちですが、かなり細かく分類されていてそれを知ることができ、また説明も大変良かった。
- ・ 食品添加物が必要という前提での講話。他の視点での話も聞いてみたい。
- ・ 添加物は必要、安全、国が認可したもの、業界の事情等一般的な説明に終始。逆に不信感が増長。世界で言われているネガティブなことに対する考え方を示せばよい。
- ・ 添加物の1日摂取量を食品表示の中でどのように判断するのか不明。
- ・ 添加物製造側の事情は理解できるが、現実的に加工食品が増えた今、以前には少なかったアトピーや癌が増えていることに全く影響がないかの説明にはなっていない。
- ・ 一般的な説明に終始している。
- ・ リスクの話で謎が解けたところが幾つかあった。
- ・ これまで添加物に対して怖さがあったが、受講したことであまり神経質に考えなくてもよいと感じた。
- ・ 添加物の多さに驚き。
- ・ 食品添加物について知らなかった部分を知ることができた。

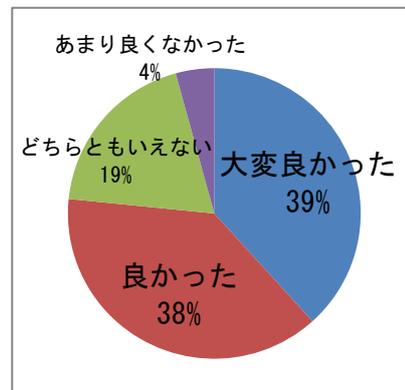
- ・ 食品添加物は歴史的に必要だったことと食欲向上にも役立ったことに合点がいった。リスクはあるが現実論で考えての許容範囲である。
- ・ 普段耳にしない、食品添加物の種類の多さを知り大変参考になった。
- ・ 食品添加物は食品を安定的、かつ安全に摂取するために不可欠なものと理解できた。添加物の使用例が多すぎて、一度聞いただけでは分かりにくい。
- ・ 食品添加物について興味はあったが、詳しくは理解していなかった。
- ・ 食品の製造過程において、保存の目的で添加され、S22に制定された。リスク分析の評価、管理、リスクコミュニケーションの大切さを知った。
- ・ 安全と安心、最後に決定するのは自分である。
- ・ 「無添加」がより安全であるという科学的根拠はないということがよく分かった。これまで添加物は良くないものと思っていた。
- ・ 「食品添加物は食文化、食品加工技術の進歩と共にある。」というところが良かった。
- ・ 資料を読んだだけでは理解できなかつたところも、講師の方の話を聞いて理解が深まった。自ら考えて判断すること、疑問を持つこと、情報提供すること、科学的とは…重要である。
- ・ 「食品添加物」の役割を知ることができた。
- ・ 添加物の理解ができたのが成果。ただ、説明が早く、また資料に詳細記述がないのが不満だった。
- ・ 何故添加物を使うのかはよく理解しているが、それによって害はないか？を知りたかった。甘味料についてブドウ糖、果糖等の甘味料があるがそれについて無記載だった。
- ・ 質問に答えてもらった。
- ・ 食品添加物の役割と安全性の管理の説明は良かったが、質問に対する回答が長すぎてハッキリしなかった。
- ・ 食品添加物がしっかり管理されているのであれば、表示義務は要らないのではないか。消費者は表示内容をどのように評価すべきか。
- ・ 食品添加物の歴史等、これまで説明を受けたことがなかったので知ることができ良かった。
- ・ 食品添加物は体に良くないと思っていたが、実験結果を示してもらえ、とても勉強になった。
- ・ 添加物が入っているというだけで良くないと思っていたが、必要性を感じた。
- ・ 紫字、緑字の表記が、あとで資料を見直したときに分かりにくい。SDGsのマークが小さくて見えづらかった。
- ・ 後半の内容はとても関心のある内容で情報化社会ならではの着眼点にも納得。
- ・ 詳しく学ぶ機会がないので勉強になった。資料も分かりやすかった。
- ・ 100%安全な食べ物はなし、リスク評価され管理されているということ、いたずらに不安がらずバランスのよい食生活を心がけたい。
- ・ 大きいテーマの捉え方なので具体性にやや欠け、理解しにくかった。特に色彩についてなどはモノクロでカラーの説明など大切なことが軽い説明で終わってしまった印象。
- ・ 表示の内容、方法について曖昧だったことが明確になり良かった。
- ・ キャリーオーバーに対する表示について理解できた。
- ・ 安全は科学的に評価すべき。リスク＝影響の程度×発生の可能性、の考え方を理解できた。
- ・ 安心よりも安全が重要。家庭科の教科書に添加物を問題視する記載があるのか、家で確認したい。
- ・ 食品添加物が悪者になっているイメージだったが、少し安心できる部分もあった。
- ・ 食品添加物は使用されていない方が良いと思っていたが安全性は認められていることが再認識できた。添加物＝悪ではないことを分かりにくいので、学びを深めていきたい。
- ・ 感想・・・代謝と蓄積についても知りたい。
- ・ 全体的に具体例を入れて説明してほしかった。
- ・ 添加物が入らない食品は無いということを初めて知った。あまりにも食品添加物にこだわった自分を反省している。
- ・ これまで、添加物に関して安全性のみの説明が多かった(リスク面が少ない)が、今回は役割効果に関して詳しく説明され、別の視点からの話を聞くことができ興味深かった。

- ・ 食品添加物に関して自分の理解が異なっていたことに気づかされ、今後の参考にしたいと思った。
- ・ 安全性に疑問があった。

### 3. 情報提供 「食品添加物の不使用表示に関するガイドラインについて」について

#### (1) 内容はいかがでしたか。

大変良かった	18人
良かった	18人
どちらともいえない	9人
あまり良くなかった	2人
良くなかった	0人



#### (2) 上記の回答理由（一部抜粋して記載しております）

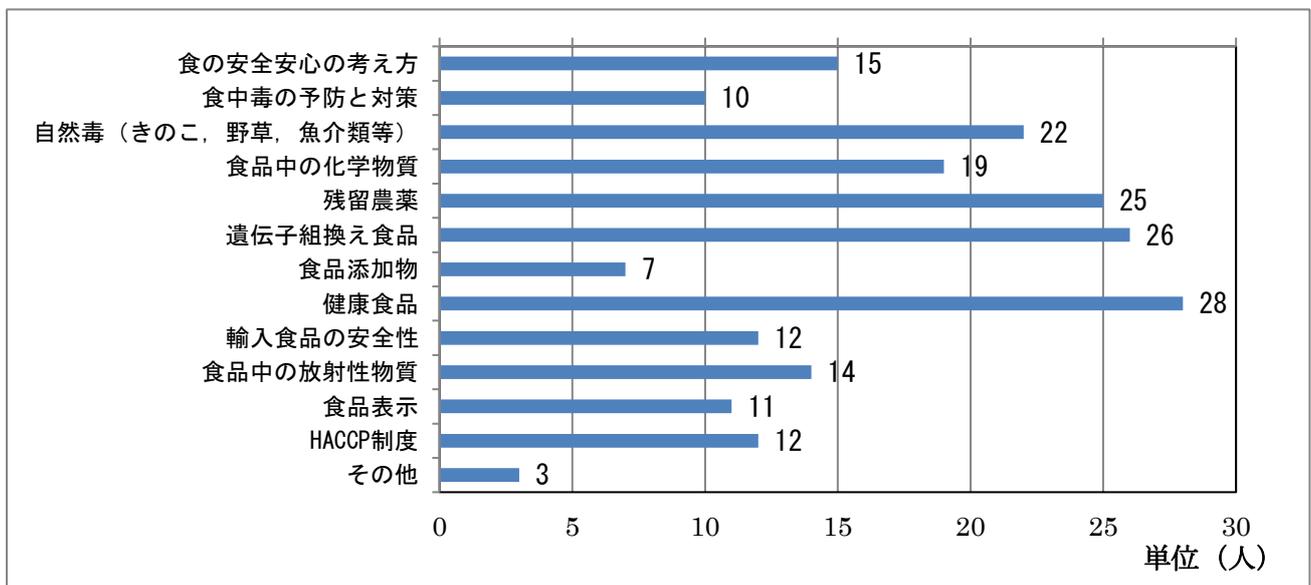
- ・ 買い物をする時、不使用、無添加の表示を気にかけてながら購入していたが、これは業者の判断であることを知り、考え直さなければならなかったと感じた(不使用、無添加が何であるかを疑問に思っていた。)
- ・ 重点、重要性があったので良かった。
- ・ 添加物と自然界の植物(ジャガイモ、ぎんなん・・・)や貝を比較しているが、対象外だと思う。アンフェア。
- ・ 私達が望むのは子孫に至るまで全く影響のない安全な食品を望むもので、イギリスでは200品目しか認めていない食品添加物が日本では1500項目以上もあることに疑問を感じる。
- ・ 分かっているようで分かっていた自己解釈を改めて反省。とても丁寧に説明していただいた。
- ・ 表示にも事細かに分類されていることが分かったが、少し難しく、そこまで気にしているのかなと思った。
- ・ 企業は製品の明記、表示にも気をつけなければいけないと感じた。
- ・ 食品添加物として過剰摂取でない限り、安全性が認められていることがよく理解できた。情報に惑わされないことが理解できた。
- ・ 多くの実験データが存在することを知り、安心した。情報に惑わされない知識が大事である。
- ・ 資料を見ながらの講演で勉強になり良かった。
- ・ イメージで安全性を揺るがすのは良いとは言えない。
- ・ 意識的に優位性を求めるために添加物を使用しているにも拘わらず無添加表示する事業者もいるので、根拠の無い情報を消費者に知らせるべきではない。虚偽の情報を取り締まるべきと思う。
- ・ メディアリテラシー、スマホなどで多く出ていて不安を煽る情報が多い。きちんと判断し安心して食品を選んでいきたいものです。
- ・ ずっと無添加等が良いと思っていましたが、今までは表示に惑わされていた。ガイドラインが出来たことはとても良いと思う。
- ・ メディアに取り上げられたものについては曖昧なので、発がん性とかアレルギーとの関連についてが、まだ不透明。まだまだ調査の必要性を感じる。
- ・ 実は“不使用表示”について知らなかったので、“誤認”につながるようなことがあった。食品表示を見て買入れしていて気づかなかった。
- ・ ガイドラインがあること自体、初めて知った。
- ・ 無添加、不使用表示はそれが正しいものと理解していたが、いろいろと問題あることが分かった。
- ・ 表示に惑わされないように他の人にも教えて、食品を楽しく選ぶようにしたいと思う。
- ・ 法令と任意表示の違いが分かり、聴いて良かった。“表示”の真意を見定める裁量が求められることも併せて

理解できた。“安全でない添加物はない”

- ・ 日本における添加物の種類は多くよく耳にする。一品目の添加物は少なくとも殆ど全ての加工品に入っているとしたら結構な添加物が体内に入ってくると思えるのだが、キャリーオーバーという定義が怖い。
- ・ 食品添加物は一種類しか調べないから、混ぜたらどうなるか？
- ・ 任意表示、無添加、天然等が良いイメージとして一人歩きしている。
- ・ 分かりやすい説明で良かった。これからの生活の参考にしたい。
- ・ 食品添加物表示制度に関する検討会の説明が一番参考になった。（海外における食品添加物の表示制度等も踏まえ・・・と記載していたので。）
- ・ 人工、合成等使えない表示について、知らなかったことを知ることができたので惑わされずに食品を選びたい。
- ・ 無添加、天然と書いてあると安心して購入していた気がする。初めて知ることが沢山ありました。
- ・ ガイドライン難しい。もう少し勉強してみたい。
- ・ 幅の広い内容でなかなか理解しがたい面が多かった。準備が大変かと思うが色彩刷りの資料にしてほしい。
- ・ 「無添加」「不使用」にはとても不安感、不満、不信感を持っていたので、そのことが改善されるような内容で良かった。
- ・ 確かにその通り。表の表示を信用し、裏表示を確認することを忘れてしまう自分勝手な思い込みを反省した。
- ・ とても興味深い。無添加なら安全→添加物は安全ではないと誤解を生むという話は納得できた。
- ・ 任意表示で惑わされていることが分かった。
- ・ ガイドラインについて理解が深められた。ただ、不使用表示が多くなると使用しているのはダメというふうな考えてしまうので、どうなのかと思う。
- ・ トマト、じゃがいもにも毒性があって・・・と、添加物と比較するのはおかしいのでは？ 自然の中にあるものと人間が人工的に手を加えたものは比較にならないと思う。
- ・ 質問にあった通り、日本が世界で一番添加物が多い(認可)と聞いていたので、すごく不安だった。講師の説明を聞いて理解できた。
- ・ 任意表示についての説明は面白く、気をつけたいことだったと思う。
- ・ 義務表示、食品添加物に対する理解を深めることができ、分かりやすいお話だった。
- ・ ガイドラインよく分かりました。

### 問3 セミナー全般について伺います

1. 今後聞いてみたいテーマをお聞かせください。(複数回答 可)



## 2. その他, ご意見・ご感想 (一部抜粋して記載しております)

- ・ 本日の食品添加物の役割と安全性についてのセミナーもとても勉強になりました。栄養価の補填, 強化の目的や品質を保つ目的での添加物の使用は有りかなと思います, 五感にアピールするものに対してはあえて必要としないものもあってもよいのではないかと思った。食品添加物は私達の食生活になくはならない必要なものなので, これからも正しい知識で食品選びの参考にしていきたいと思った。
- ・ 帰宅後, 資料を再度読んでみたい。無添加と化学調味料不使用に気をつけたいと思う。
- ・ 食品には添加物がつきもの・・・だと思っていたが, 当たり前だが, きちんと基準があり, それを守りながら表記していることを感じた。自分で気になることは気をつけていけばよいのかと思った。ちょっと分からないと不安になるのはしょうがないのかと思った。
- ・ 最後の食品添加物の不使用表示に関するガイドラインについてのお話, 身近に感じていたことですので, 良かったです。勉強が大切ですね。
- ・ 正しい知識を得ることができ, 良かった。
- ・ 質問にも丁寧に答えていただき講師の先生に感謝。今後も参加したいと思う。
- ・ とても参考になった。質問も受けて頂き, すっきりした。今後もよろしくお願いしたい。
- ・ 県が主催するセミナーであれば, 客観的公平に評価できる内容で進めてほしい。
- ・ 長短バランスのとれた内容で受講者が判断できる内容が望ましい。
- ・ 食品の安全安心において様々な取組をしていただきありがとうございます。
- ・ 物価高で自分の行くスーパーでは見切り品を買う人が多い。そんな中で素朴な疑問がいくつも浮かぶのが食品なのは, 一番身近な衣, 食, 住の一つだから。人を良くするのが食なら, 食べられることに感謝する口福について, 良い県民を育てるためにも食についてどんどん発信してもらいたい。
- ・ 食品添加物の表示を適正に行っていない小規模事業者(直売所。道の駅等に出品している加工者)がまだいる様。膨張剤としてのベーキングパウダーや重曹が添加物と知らない方もいる。表示はアレルギー物質を含め, どう周知させるのか, 安全安心の質の向上を。
- ・ いつも時間が足りず早口になり, 聞きにくいところもあり, 残念に思った。
- ・ 発がん性物質・・・各国での基準を設けて評価して良いと思う。
- ・ 情報の真偽, どこから来ているのが重要。“発信元による”ことを常に意識して情報に振り回されないようにしたい。考えて行動する姿勢を持つ。文献を読み解く力は甘くないので, やはり自分はどこで誰が発信しているかを大切にしたい。
- ・ 勉強させていただき感謝。ただし, 遠方からきているので時間厳守を求む。電車に間に合わない。
- ・ 福島県産の野菜がスーパーに行くとき最後まで残っている。放射性物質の残留に対する懸念かと思う。その払拭のためにも身体に影響がないところを研修を通して訴える必要がある。
- ・ 添加物の善し悪しが起点だと見えてこない。困ったもの。
- ・ イメージ図で添加物の有様を説明してもらおうと頭の整理がつくもの考える。
- ・ 私は, 何かの添加物でアレルギーを起こしていると感じる。食品のアレルギーはあるが, 何ともない食品でひどく体調を崩す。加えられている添加物なのか, 疑問を覚える。そのことを理解できるような状態にはならないのか。外国では使用する種類が少ない国が多いが, 日本はどうして多く使っているのか! そういうことが知りたく質問したが, 答えを理解できなかった。
- ・ 食品表示内容は重要だが消費期限, アレルゲンなどは守る必要があるが, 添加物が安全であるのに非常に沢山表示されると不安になる。消費者はどのように評価すべきか!
- ・ 久しぶりのセミナーだった。食品添加物については, 添加物が無ければ食品は作れないことは十分分かっていたところだったが, 今回, 色々な実験結果を説明していただきながら, 今までのセミナーとはまた違った, 安全性と安心の面を教えて頂いたと思う。先生方によって色々なセミナーだとは思いますが, 日本食品添加物協会の先生だったので, とても勉強になった。
- ・ 家に帰ってから, 良く資料を見て勉強してみたいと思った。
- ・ 科学的な根拠がある情報をしっかり見極めることの重要性がよくわかり, とてもためになる講義だった。食

品添加物に対する偏見が自分の中にもあったので、見直す機会となった。周囲にも話してみたいと思う。

- ・ 経験的判断，材料的判断を上手に使っていかなくてはいけないと感じた。食品添加物表示制度が難しすぎる。キャリアオーバーも・・・。
- ・ 今後の勉強テーマに向けて順調なセミナー実施を楽しみにしている。
- ・ たいへん勉強になりました。
- ・ セミナーは時間内に終了するようにお願いしたい。次の予定もあり，バスで30分以上掛かる。次回からよろしくお願いしたい。
- ・ フールフィディズムを初めて知った。マスコミでなく，国の情報，他国の情報から判断していきたい。食について考えたい。
- ・ 久しぶりに講演会に参加した。有意義だった。また参加したいと思う。
- ・ 摂取量が少ないとはいえ，今起きている問題に対してデータ，科学的根拠がないので安全というのは不安。
- ・ セミナーが毎回一方的なのは不満。反対意見のセミナーも行い，意見交換をしっかりとするのが本来のモニターの役割ではないか！
- ・ ゆっくりの説明で聞きやすい。声がよい。
- ・ 安心，安全に食べることに関して，添加物協会で，もっと市民に勉強会を開いてほしい。店で販売しているものは安全と思い購入している。